



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年1月28日

上場会社名 小松ウオール工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7949

URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加納 裕

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 熊田 雅巳 (TEL) 0761-21-3131

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	26,841	11.7	2,463	42.6	2,483	42.3	1,646	45.7
2019年3月期第3四半期	24,036	5.9	1,727	45.8	1,744	40.6	1,130	43.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	178.47	-
2019年3月期第3四半期	122.61	-

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	39,124	33,156	84.7
2019年3月期	39,300	32,247	82.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 33,156百万円 2019年3月期 32,247百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	30.00	-	40.00	70.00
2020年3月期	-	40.00	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	-	-	35.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,200	7.4	3,850	26.3	3,900	27.0	2,580	25.9	279.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	10,903,240株	2019年3月期	10,903,240株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	1,672,865株	2019年3月期	1,681,542株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3Q	9,228,012株	2019年3月期3Q	9,221,699株
------------	------------	------------	------------

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(2020年3月期3Q 235,700株、2019年3月期 244,400株、2019年3月期3Q 244,400株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」の記載事項をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米中間通商問題の影響による海外経済の不確実性や為替・株式市場の不安定さへの懸念は残るものの、国内における個人消費の持ち直しや雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況にあつて当社は、生産部門においては、従来から進めてきた「見える化」のさらなる進展を図り、IoTを駆使した生産性向上活動への取り組みを一層進めております。また、営業部門においては、本社技術者の同行営業に一層注力したことにより、設計指定額が堅調に増えております。さらに、営業の販売力強化を目的として教育・研修カリキュラムを見直し、階層別に営業教育を充実させたことに加え、3ヶ月先行管理の徹底を図ったことにより、見積獲得額も好調に推移しており、受注高にその効果が現れております。

当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、官公庁向けでは学校・体育施設等の公共施設の売上が好調に推移しており、民間向けではオフィス、工場を中心に好調に推移しております。品目別では、可動間仕切や固定間仕切、トイレブース、移動間仕切の売上が好調に推移しております。

売上高につきましては、第3四半期累計期間において過去最高となる268億41百万円となり、前年同四半期と比較して11.7%の増加となりました。受注残高におきましては、前年同四半期比5.9%の減少となったものの、高い水準を維持しております。

利益面につきましては、増収効果をはじめ、業務の効率化を図るなど生産性の向上に努めた結果、売上総利益率は35.3%（前年同四半期比0.2ポイント上昇）となり、営業利益24億63百万円（前年同四半期比42.6%増加）、経常利益24億83百万円（前年同四半期比42.3%増加）、四半期純利益16億46百万円（前年同四半期比45.7%増加）となりました。売上総利益、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも第3四半期累計期間としては過去最高益となり、三期連続で増収増益となりました。

当第3四半期累計期間の品目別売上高、受注高及び受注残高は次のとおりです。

## 品目別売上高、受注高及び受注残高

(単位：百万円)

当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)						
品目	売上高		受注高		受注残高	
	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)	金額	前年同 四半期比 (%)
可動間仕切	9,104	109.5	9,767	107.4	3,374	110.0
固定間仕切	6,467	116.0	6,645	104.8	4,682	91.4
トイレブース	5,107	109.4	5,717	105.6	3,078	98.4
移動間仕切	4,858	120.3	5,233	108.7	4,465	92.0
ロー間仕切	438	93.9	453	95.1	77	105.7
その他	866	89.4	925	68.6	281	39.5
合計	26,841	111.7	28,742	104.5	15,961	94.1

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間の末日における財政状態は、総資産は391億24百万円となり、前事業年度末と比較して1億76百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は248億円となり、前事業年度末と比較して52百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金10億99百万円等の減少と、現金及び預金5億61百万円、電子記録債権2億45百万円、たな卸資産2億31百万円等の増加によるものであります。固定資産は143億23百万円となり、前事業年度末と比較して1億23百万円の減少となりました。これは主に、投資その他の資産1億27百万円等の減少等によるものであります。

負債の部では、流動負債は42億69百万円となり、前事業年度末と比較して12億28百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等7億33百万円、賞与引当金5億25百万円等の減少等によるものであります。固定負債は16億97百万円となり、前事業年度末と比較して1億43百万円の増加となりました。

純資産の部では、純資産の総額は331億56百万円となり、前事業年度末と比較して9億8百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は84.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年10月23日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,296	11,858
受取手形及び売掛金	10,592	9,493
電子記録債権	2,145	2,391
有価証券	10	—
たな卸資産	708	940
その他	98	117
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	24,853	24,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,022	10,163
機械装置及び運搬具	6,689	6,771
土地	4,663	4,663
その他	975	1,252
減価償却累計額	△10,531	△11,085
有形固定資産合計	11,819	11,766
無形固定資産	412	470
投資その他の資産		
その他	2,224	2,094
貸倒引当金	△10	△7
投資その他の資産合計	2,214	2,086
固定資産合計	14,447	14,323
資産合計	39,300	39,124
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,013	1,825
未払法人税等	840	106
賞与引当金	1,100	574
その他	1,543	1,763
流動負債合計	5,497	4,269
固定負債		
退職給付引当金	1,265	1,365
役員退職慰労引当金	86	86
役員株式給付引当金	121	146
その他	79	99
固定負債合計	1,554	1,697
負債合計	7,052	5,967

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	28,729	29,618
自己株式	△2,688	△2,674
株主資本合計	32,176	33,079
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	71	77
評価・換算差額等合計	71	77
純資産合計	32,247	33,156
負債純資産合計	39,300	39,124

## (2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	24,036	26,841
売上原価	15,605	17,361
売上総利益	8,430	9,480
販売費及び一般管理費	6,703	7,017
営業利益	1,727	2,463
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	9
受取家賃	17	17
その他	8	9
営業外収益合計	36	37
営業外費用		
売上割引	18	17
その他	0	—
営業外費用合計	18	17
経常利益	1,744	2,483
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	4	0
特別損失合計	4	0
税引前四半期純利益	1,740	2,482
法人税、住民税及び事業税	476	646
法人税等調整額	133	189
法人税等合計	609	835
四半期純利益	1,130	1,646

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。